



さが プログラミングアワード 2020

特別協賛 学映システム Gakuei System

県内の小学生がプログラミングのアイデアや完成度を競う「さがプログラミングアワード2020」(佐賀新聞社主催、NetComさが共催、学映システム特別協賛)が12月26日、佐賀市で初めて開かれる。作品の募集を前にアワードの全容とプログラミング教育の現状を紹介する。

初の県大会 作品募集8月から

さがプログラミングアワードとは、コンピュータやロボットを思い通りに動かす喜びや、作品を会場で発表する達成感を味わってほしいと小学生を対象に行う大会で、低学年と高学年の2部門でプログラミング作品のアイデアや完成度を競う。作品に用いるソフトやロボットなどのジャンルやプログラミング言語は自由で、個人か3人までのチームで応募できる。募集期間は8月1日から10月30日。佐賀新聞社の特設ウェブサイトを受け付ける。一次審査(書類審査)を通過した約10人(組)が12月26日の本選に進む。最終審査はプレゼンテーションと質疑応答。部門ごとに大賞・準大賞・特別賞を贈る。両部門の大賞の中から選ぶ1人、または1チームは来年3月に東京で開かれる全国大会に出場できる。アワードは佐賀新聞社が主催。地域におけるICT利活用の調査・研究・開発を行う「特定非営利活動法人NetComさが」が共催し、体験教室などで作品制作をサポートする。また、教育用のICTシステムを提供している「学映システム」が特別協賛。小学生が秘めている可能性を発掘し、将来の社会で活躍できるきっかけの一助になることを目指している。

部門・テーマ	
低学年(1~3年生)	学校がもっと楽しくなるもの
高学年(4~6年生)	学校で役に立つもの
内容	
テーマにそって制作したオリジナルのプログラミング作品(ジャンルやプログラミング言語は自由)でアイデアや完成度を競う。部門ごとに大賞・準大賞・特別賞を授与。	
作品応募期間	
8月1日(土)~10月30日(金) ※特設サイトから応募	
一次審査(書類審査)	
11月上旬 本選出場10人(組)程を決定	
本選(プレゼンテーション審査)	
12月26日(土) メートプラザ佐賀	

詳しくは公式ウェブサイト
<https://www.saga-s.co.jp/feature/saga-programing>



論理的思考身に付ける



中原裕文指導主事
長尾真司指導主幹

プログラミング必修化 小学校今年度から

今年度から小学校でプログラミング教育が必修化され、県内でも本格的に取り組みが始まっている。現場で小学校教諭として勤務経験を持つ、佐賀県教育委員会小学校教育課の二人に話を聞いた。(聞き手・花木美葉)

◆必修化の狙いは、
中原裕文指導主事(以下中原) プログラミング教育は、算数や国語などの教科とは位置づけが異なる。各教科の学びや目標を達成するために、プログラミングを利用する。
生活とコンピュータが切っても切り離せない関係になった。社会情勢も背景にある。コンピュータを使うだけでは

県内でも2年前から準備 達成感を得て学び深める 中原氏 長尾氏

◆現場での活用は、
中原 文部科学省が教科ごとに活用方法を例示している。現場はそれを参考に準備を重ね、試行錯誤している。
長尾 例えば算数で、正多角形の描画にプログラミングを使うことも考えられる。その場合、多角形の辺の長さや内角の角度がどうなっているかという目的の多角形ができるかなど、プログラミングの知識だけでなく、図形の性質の理解が不可欠になる。うまくできた時の楽しさや達成感を得ながら学びを深

め、知識を自分のものとして確かなものにしていく使われ方。
◆大会への期待は、
長尾 これまでも国語や社会などの教科で、自分の考えを相手に伝えるために組み立てる考えを相手は伝えている。これからはプログラミングの楽しさを通じて、さらに論理的な思考力が育つことを期待している。学力や、主体的に学ぶ態度を育てるためのプログラミング教育だと考えている。
10年後や20年後の世界がどうなっているかは予想しづらい。コンピュータに使用されるのではなく、側面になってほしい。どのような世界になっても生きていく、その手段の一つとしてプログラミング的思考を身につけてほしい。プレゼンも楽しみ。どんな思いを込めて作ったか、作る過程で直面した困難などをどう解決したかなども聞いてみたい。また、作品やプレゼンを見た子どもが「自分もできるかも」と身近に感じてくれたら、なおうれしい。どんな力が集まるか、楽しみにしている。

体験教室を8月に開催 参加者募集

アワードに向けては、子どもたちの作品作りもサポートする。8月8日と22日には「プログラミングが好きな人」体験教室を佐賀市で開く。共催のNetComさがのメンバーがプログラミングの考え方やツールの使い方を指導し、アイデアを形にする思考を学ぶ。参加者は3人でチームを組み、学校をテーマに課題解決の方法を考え、プログラミングして発表する。参加は無料。応募はメールに受講希望日、氏名、学校学年、保護者名、住所、電話番号、メールアドレスを記入し、spa2020@saga-s.co.jpへ申し込む。

日程・会場	8月8日(土) Microsoft AI & Innovation Center iスクエアビル5階(佐賀市)
	8月22日(土) 佐賀新聞社5階(佐賀市)
時間・対象	9:00~12:00 低学年(1~3年生) 13:00~16:00 高学年(4~6年生)
定員	各回15人(保護者同伴は1人のみ)
締め切り	7月31日必着。応募多数の場合は抽選し、結果はメール通知

応募・問い合わせ先 佐賀新聞プランニング
メール: spa2020@saga-s.co.jp
電話: 0952-28-2151

特別協賛 学映システム Gakuei System

主催: 佐賀新聞社 共催: 特定非営利活動法人 NetCom さが 後援: 佐賀県、佐賀県教育委員会、20市町教育委員会、佐賀県高度情報化推進協議会、未来の学びコンソーシアム、経済産業省、全国新聞事業協議会



紙面編集・松尾守子

こどもの夢をお手伝いします

Doctor

scientist

System engineer

株式会社 学映システム
Gakuei System
ホームページアドレス <https://www.gakuei.co.jp>

■佐賀本店/佐賀市鍋島町大字森田902番地 TEL0952-34-5280/FAX0952-34-5285
 ■武雄支店/武雄市武雄町大字永島15877番地1 TEL0954-22-4124/FAX0954-22-4109
 ■唐津営業所/唐津市和多田用尺12番39号 TEL0955-70-2270/FAX0955-70-2277
 ■久留米営業所/久留米市東合川8丁目8番21 TEL0942-41-4315/FAX0942-41-4317
 ■福岡営業所/福岡市博多区千代2丁目1番15 TEL092-260-7664/FAX092-260-7665
 ■沖縄営業所/沖縄県島尻郡那原町字東浜80番4 TEL098-917-2707/FAX098-917-2708

新時代を担う子どもたちに最適な教育環境を

教育ICTソリューション
教育現場の情報化に最適なハードウェア、ソフトウェア、これらを活用するためのソリューション全体の企画提案、導入、設定、保守等をトータルでご提供いたします。

教育機器ソリューション
学校で活用される各種教材や消耗品、プロジェクターなどの視聴覚機器、顕微鏡などの理化学機器、実験台や調理台、各種備品やプリンタなどのOA機器。これらの運用を含めたソリューションの提案から導入、メンテナンスまで、トータルでご提供いたします。

ICT利活用サポート
教育の情報化によって導入された、様々なハードウェアやソフトウェアなどの各種操作研修会の実施やインストラクターの派遣から、ICT支援員の配置、教育情報化コーディネーターの配置など、より良い利活用へつなげるようにサポートいたします。